

進路探究学習（キャリア教育）

子ども一人一人が「自分が大切にされている」と実感できる学校づくり

子ども一人一人が現在や将来に希望をもち、その実現を目指して生き方や進路について考える「進路探究学習（キャリア教育）」をより一層充実します。人や社会との関わりの中で、自他の個性や多様性について理解し、自分の役割を果たすことや、学ぶこと、働くこと、生きることについて見通しをもつことで、「自分らしい生き方の実現」と「社会的・職業的な自立」に向けて必要となる資質・能力を育成します。

また、小学校から高等学校を通じて、キャリア・パスポートを活用することで、自身の成長や変容を自己評価したり、将来の生活を展望したりして、キャリア形成を図ります。



進路探究学習オリエンテーリングにおける専門学校での職業体験

キャリア教育は、特別活動を要として、学校教育全体を通して行います。

小学校段階

- 助け合って係や当番活動を行い、自信をもってできることを増やします。(低学年)
 - 地域で働く人の仕事の様子を捉え、その工夫について考えます。(中学年)
 - 話合いを通して、自分の役割や責任、自他のよさを理解します。(高学年)
- ・ 特別活動、社会科 等

中学校段階

- 自分の興味・関心などの個性を理解し、将来の生き方、働き方等を考えます。
 - 将来の職業生活との関連の中で、現在の生活におけるマナーやルール、学習の必要性や大切さを理解します。
- ・ 「進路探究学習オリエンテーリング」への参加 等

高等学校段階

- 主権者としての自覚を含む社会の形成者として主体的に参画する意識を高めます。
 - 社会や地域と連携した体験的な学習等における主体的・試行的な体験を通して、生き方や将来について考えます。
- ・ 進路探究セミナー（高1）
・ キャリア探究学習（高1～2）
・ 高大連携事業 等

「自分らしい生き方の実現」と「社会的・職業的な自立」に必要な資質・能力の育成

キャリア・パスポートの活用例

学校行事や各教科等の記録を、学期末等のまとまりで振り返って自身の成長を自覚する機会とし、次への見通しにつなげるなどの活用を特別活動（学級活動）で行う。

小6で記入した中学校進学時の不安を、中1の3学期にどのように解決されたか振り返り、次の学年での目標への見通しにつなげる。

職場体験活動を通して触れた勤労観や職業観を見つめ直し、自己の将来を思い描きながら、自分らしい生き方や職業について考える。

国際理解教育

多文化共生社会を見据え、我が国の伝統と文化を大切にし、世界の人々の多様な生活や文化を理解し尊重する態度を養うとともに、世界の平和に貢献し、国際社会で信頼と尊敬を得るにふさわしい資質を育成する国際理解教育を推進します。

外国語教育の充実

～札幌市英語教育改善プランの推進

札幌市英語教育改善プランに基づき、子どもが主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養い、コミュニケーションを図る資質・能力を育成します。



■ 外国語教育における「小中一貫した教育」の推進

■ 「札幌CAN-DOスタンダード」の活用

■ 自分の考えや思いを伝え合う言語活動の充実

■ 外国語指導助手（ALT）の活用

■ ICTを活用した外国語教育の推進

■ 英検 IBA（RL）の活用（中学校全学年）

異文化理解、平和に関する教育の充実

・ 姉妹都市の小中学校とのオンライン交流、札幌在住の大学外国人留学生や国際交流員等との国際交流など、体験的な活動を充実させ、我が国の伝統と文化の理解とそれらを大切にする心情や、世界の多様な文化を受け入れ、尊重しようとする資質・能力を育成します。

・ 戦争体験者の講話や平和へのメッセージ作成など、子どもの自発的な活動を推進し、自ら平和な社会の形成に参画する資質・能力を育成します。



オンライン国際交流を通して、札幌や日本の魅力を紹介する中学生